

2021年4月25日(日)  
SUPER FORMULA 第2戦 決勝  
鈴鹿サーキット

決勝結果

#1 : 8位  
#64 : 10位

決勝概要

- ・快晴のもと行なわれた第2戦
- ・3番グリッドスタートの大湯はスタートで大きくポジションダウン、10位フィニッシュ
- ・10番グリッドスタートの山本は粘り強いバトルを展開し8位フィニッシュ

コメント

総監督：中嶋 悟

「山本は予選より順位を上げることができ、粘り強いレースができたと思います。大湯については、スタートの失敗が大きく尾を引いてしまい、厳しいレースになってしまいました。まだ2戦ですが、2人揃ってポイントを獲得できるレースが続いているので、この先もこれを継続して、さらに上を目指して頑張っていきたいと思います。今回もたくさんのご声援をいただき、ありがとうございました」

#1 : 山本 尚貴

「スタートは良かったのですが位置取りが上手くなく、前をふさがれてポジションを上げきれなかったのは残念です。今回は純粋にスピードが足りず、戦略は良かったで

すがそれを活かすことができない、うまくいかないレースでした。最終ラップでは、1周前に坪井選手がオーバーテイクシステム(OTS)を使っていたので、最終ラップでは僕が有利になることに気づいていました。僕のOTSは残り85秒ありましたから、追いつけるところまで行けるだろうと思っていましたが、最後は抜き切れなかったです。野尻選手が2連勝してリードを広げられてしまいました。僕もチームも頑張っていますが、ここから先に向けて、さらにひと踏ん張りしないといけません。チャンピオンを獲るためには、残りのレースを全部勝つぐらいの気持ちで次戦以降にも臨みます」

#### #64 : 大湯 都史樹

「スタートでエンジンストールしてしまったことが今回の結果の最大の要因です。動き出しまでは良かったのですが、かかった瞬間にエンジン回転が落ちてストールした感じでした。スタートしてからは、思っていたよりはペース良く、戦えるぞという感触もありましたが、一列状態の中ではなかなか抜くことができず、もどかしいレースでした。OTSで相手を抜いても、こちらが使えない時には相手に分があつてまた順位が戻ってしまうという、ドライバーにとっては歯がゆい展開もありましたが、ファンの皆さんには楽しんでいただける場面があったかと思います。そんな中で、少しでも順位を上げてポイントを獲得する位置までリカバリーできたことは良かったと思っています。今回は、持っていたポテンシャルを発揮しきれない展開になってしまったので、次戦はきちんとそれが結果につなげられるように頑張ります」

※次戦は5月15日・16日にオートポリスで行なわれます。